

第 118 回エフエム熱海湯河原 番組審議委員会 議事録

- 1 開催日時 令和 3 年 5 月 20 日（木）午後 1 時 30 分
- 2 場 所 湯河原町役場 第 2 庁舎 3 階 会議室（湯河原町中央 2-2-1）
- 3 委員総数 10 名、出席委員数 8 名、欠席委員数 2 名
出席委員：館石晃一、白井萌以、深田真弓、小原健、川口正樹、宮下睦史、
鈴木なつみ、さいとう真由美
欠席委員：高橋祐介、石田浩二
放送局側出席者 山崎浩一、金井周平
- 4 前回審議番組の経過 開催通知に議事録を添付した。
- 5 議事

（1）委員選出、委員長、副委員長選出

市・町ご担当者変更に伴い小原健氏、鈴木なつみ氏の 2 名が新たに委員に選任された。10 名の委員の中から委員長、副委員長の選出をはかったところ、委員長に館石晃一氏、副委員長に白井萌以氏が選出された。

（2）番組へのご意見

◆対象番組：『みんなの発表会』校歌特集

放送日時： 令和 3 年 3 月 20 日（土） 18 時 30 分～19 時 30 分

○委員からの意見

・今回の 60 分録音放送枠以外の生放送番組で放送した際は学校の紹介や曲の説明があったのか？

《局から回答》

⇒朝の生放送番組は時間が長いので曲の前後に説明を加えて放送しました。その総集編として録音番組枠で放送しました。

・これまで連続で校歌を聴く機会が無く、今回聴き比べてみてあらためて学校ごとにちがう事や、コロナ禍で生徒を集められず熱海高校の吹奏楽部は担当の先生が歌っているところなど、おもしろいと感じた。

・地元の方は懐かしいと感じると思う。特に廃校になったところに在籍されていた方は聴く機会が無かったと思うので特にうれしく感じると思う。

・校歌のはじまりは、音楽的な高まりというよりも、明治政府の教育改革の一環として広い地域から色々な生徒が集まる学校で必要な価値観や思想を統一する訓練の一つとして始まったと言われている。コロナ禍で、なかなか集まって歌えない中、せめて録音した歌を聴いて統一感を出すのは良い企画だと思う。

・放送した校歌の音源は各学校に配布をしたか？

《局から回答》

⇒各学校の校歌部分をそれぞれ配布しました。

- ・めったに他の学校の校歌を聴く機会が無かったので新鮮。
- ・合唱コンクールに使われそうな校歌もあっておもしろかった。
- ・自分の学生時代を思い出し懐かしい気持ちになった。
- ・学校をテーマにした番組は良い。

・現在 YouTube など、一つの歌を複数の人が別々に歌ったものをつなげるリモート合唱が流行っているので、生徒たちの歌声をつなげて一つの校歌を作った番組を聴いてみたい。

・当時ピアノの伴奏を練習したことなど思い出して懐かしいと思った。

・(生放送番組の際入れたかも知れないが) 初島小中学校校歌は阿久悠さん作詞、三木たかしさん作曲。旧熱海中学校校歌は作詞が佐佐木信綱で、新熱海中学校校歌は佐佐木幸綱作詞で元レベッカのボーカルの NOKKO さんが作曲など、エピソードが入っていた方が良かった。

・これだけの数の校歌を集めるのに苦労したのではないか？

《局から回答》

⇒リスナーの方から提供された音源等も使用し何とか揃えた。

・子供たちが歌っているのが心が和やかになって良い

・熱海中学卒業生なので旧熱海中学校校歌が流れると懐かしい思い出がよみがえる。

・多くの人に聴いてもらいたい企画だと思った。

・自分の学校も廃校になっているのでその頃を思い出す。

・地元密着の FM 放送でないと聴けない貴重な番組。

・生放送番組を知らないでこの録音番組だけ聴くと校歌の部分の懐かしさだけになってしまう。

・校歌のエピソードや、在校生や OB の代表などのコメントなども入れて放送すると良いと思う。

・放送時期も卒業シーズンに合わせていて良い。

・熱海、湯河原、真鶴以外の方が聴いたときにどう感じたかを検証した方が良い。

・校歌のエピソード中心のほうが良かったのでは？

・毎日 1 校ずつコーナーで放送した方が良かったのでは？

・地元が湯河原なので母校の校歌を聴いて懐かしい気持ちになった。

・子供たちの元気でさわやかな歌声に心が和み、元気をもらった。

・児童、父兄、先生、卒業生など幅広い世代が聴いていたと思うので、リスナー開拓に良い内容だった。

・エピソードを入れたものを 2 回か 3 回に分けて放送した方が良かった。

・熱海、湯河原、真鶴全ての校歌が入っていたのか？

《局から回答》

⇒教育委員会に確認したので全部入っていると思います。

6 その他（局から報告）

・サイマルラジオの変更について

6 月からスマホアプリ「Radimo（レディモ）」がスタート

7 その他参考となる事項

番組審議委員会の開催日を委員に諮ったところ、

次回は、令和 3 年 7 月 15 日（木）に熱海市内で開催することになった。